新設白石中学校の部活動改革について（方針）

- 白石町では、新白石中学校の開校に合わせて、「部活動改革」を推進します。
- 学齢期だけでなく、生涯を通したスポーツ、文化芸術活動への多様な取組につながる基盤づくりを目的としています。
- 部活動は生徒が身近な環境でもスポーツ等に親しめるように、学校教育の中で長年かけて育まれた貴重な仕組みです。
  技術指導の他、信頼関係づくり、生徒指導にも大きな役割を果たしてきました。
- しかし近年、スポーツ等への子供たちの価値観やニーズが多様化し、加えて少子化や学校業務の複雑化など、部活動をとりまく状況は大きく変化しました。 従来の仕組みのままで、子供たちの活動を支え続けることは困難です。
- 学校、行政、地域が一体となって、希望するすべての子供たちの活動を持続的に支えていく仕組みを目指します。
  部活動の地域移行は、その手段のひとつです。

今後の部活動の地域移行、地域連携の展望

1　休日実施の部活動は、令和8年度までに全種目、地域移行します。

「地域主導で行える体制」を確立する。（地域指導者が中心となって活動できる）

2 令和5～7年度の3年間は「段階的な移行期間」です。（国が定める改革推進期間）

3　地域移行できない場合、令和8年度からは平日のみの活動になります。

4　将来的には、可能な競技等から状況に合わせて平日の地域移行を検討します。

5　地域移行した地域クラブ・団体には学校、行政が連携・サポートします。

（練習場所、用具、生徒指導支援など）

〇地域連携⇒学校部活動を顧問や部活動指導員、地域指導者が連携・協力して活動する。

〇地域移行⇒「受け皿」となる地域クラブや団体が中心となって活動する。